

第2回定例会

3 特別委員会を設置



▲調布基地跡地に、本年12月オープンの新調布病院(朝日町3-16-1)

平成15年第2回定例会は、6月10日から6月20日までの11日間の会期で開催しました。
市長提出議案は、府中市個人情報保護に関する条例など6件を審議した結果、全て可決となりました。
議員提出議案は、府中市議会委員会条例の一部を改正する条例など4件を審議し、全て可決しました。陳情は、5件を審議しました。
また、20日の本会議で、3つの特別委員会が設置されました。

基地跡地対策

特別委員会

(定数10人)

▽設置目的：基地跡地について市民がその跡地を最大限に利用できるよう促進を図る。

- ▽委員長 鈴木 錦治
- ▽副委員長 比留間 利蔵
- 委員 服部 ひとみ

再開発対策

特別委員会

(定数10人)

▽設置目的：駅周辺市街地の再開発事業を市民の要望する事業とするための促進を図る。

- ▽委員長 高野 律雄
- ▽副委員長 村木 茂
- 委員 目黒 重夫

鉄道対策

特別委員会

(定数10人)

▽設置目的：南武線新駅設置、京王線第二期高架化、都市モノレール計画の促進を図る。

- ▽委員長 松村 寿志
- ▽副委員長 土方 康平
- 委員 山口 雅

- 宮本 武蔵
- 稲津 憲護
- 隆 三子
- 田中 慎一
- 村井 浩
- 備井 邦彦
- 小野寺 淳
- 高野 宗雄
- 前川 浩子
- 遠田 康之
- 杉村 康二
- 池田 茂二
- 村崎 啓二
- 相原 博
- 上妻 斌宏
- 重田 益美
- 高野 政男
- 奈良崎 久和
- 小山 有彦
- 柴野 和夫
- 手塚 歳久
- 林 辰男

意見書 国へ提出

◎恒久平和調査局設置法案の成立を求める意見書

第二次大戦が終結して60年が経過しようとしているが、残留孤児の問題や、日本に連行され、強制労働させられた人々への問題なども依然存在している。

これら様々な戦争中の被害などを、公正中立な立場から調査し、歴史的事実を各国で共有することは、国際社会における課題であり、国会が率先して歴史事実を検証することの意義は大きいと考える。本市議会は、国会に対し、

恒久平和調査局設置法案を成立させることを要望する。

◎税源移譲を基本とする三位一体改革の早期実現を求める意見書

政府は、「国と地方の在り方の改革」の柱として、国庫補助金、地方交付税、税源移譲を含む税源配分の在り方を「三位一体」で検討し、その改革案を6月に取りまとめるとしている。この改革に当たっては、国と地方との役割分担を踏まえた税源移譲等による地方税源の拡充強化が必要不可欠である。

本市議会は、政府に対し、税源移譲を基本とする三位

一体改革の早期実現を強く要望する。

◎電力の安定供給に関する意見書

東京への電力供給は、原子力発電所が立地する他県の長年にわたる理解と協力によって担われているが、今回の東京電力株による不祥事は、電源立地地域住民に対し、原子力発電に対する不安と不信を呼び起こしている。

本市議会は、政府に対し、東京電力株に対する指導・監督の徹底を図り、一日も早く、電力の安定供給に向けた運転が再開できるよう強く要請する。